



ウェブ情報を自動で画像ファイル化するツール「Webclipse」 災害時に防災情報の収集・提供に活用する自治体などにサービス展開 ～ 画像を Box にアップロードできる API 連携機能追加 ～

アクチュアライズ株式会社（所在地：大阪市北区、代表取締役：三島 浩一）は、自社開発の自動スクリーンショットアプリ「Webclipse」（読み：ウェブクリップる）の Box に画像をアップロードできる新しいエディションの受注を 2019 年 3 月 1 日より開始します。 <https://www.actuarise.co.jp/release/20190213.html>

■「Webclipse」の防災利用について

Webclipse は Web 画面の一部をスクリーンショットで画像ファイルにして、パワーポイントや別の Web サイト、デジタル・サイネージに表示させるシステムです。画像情報は用途が広く扱いやすいデータですが、作成したときの情報なので時間が経過すると古くなってしまいます。一方 Web 情報はオンラインにする必要があり、再読込をしないと最新の情報を表示しないといったデメリットがあります。そこで Web 画面を一定間隔で自動的に再読込をし、スクリーンショットした画像を同じファイル名で上書きし続けることで、変動の多い Web 情報でも画面のコピーを画像データとしてファイル化する仕組みを考案し特許を取得しました。（特許第 5152881 号）

また、パワーポイントに貼り付けた画像を変更する際、通常は手作業で貼り替える必要がありますが、Webclipse のパワーポイントプラグインを使用すれば常に最新の画像に自動で貼り替えることができます。

これらの技術を使えば、災害時に必要となる情報を多くのサイトから画像で集める「防災まとめサイト」を作ることや、避難所や災害対策本部に設置された大型ディスプレイにパワーポイントのスライドショーを使って、災害情報を切り替えて表示することができます。すでに京都府や徳島県の複数の自治体が危機管理情報の収集と提供を目的に導入し運用しています。

■Box 連携機能について

今回リリースするエディションでは、画像のアップロード先に Box を選択できるので、Box のストレージ容量無制限のサービスを利用すれば、大量の画像を保存して過去の状況を確認することができ、セールスフォースなど Box と API で連携できる各種サービスへ画像ファイル化された Web 情報を提供することができます。

このエディションで 2019 年度は 1,000 万円の売上を目指します。



BOX、box ロゴは Box Inc. の商標または登録商標です。

【この件に関する問い合わせ先】

actuarise 株式会社 三島浩一

〒530-0041 大阪市北区天神橋 1 丁目 10-9 FBビル 6F 電話＝06-6585-0310

メール＝ pr@actuarise.com ホームページ＝<http://www.actuarise.co.jp/>



「防災まとめ」のデモサイト
<https://www.webclipse.com/bousai/>

